令和８年７月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

夏
第172号

おちあい

責任者　佐藤　欣也　企画・編集　落合第二地域センター管理運営委員会　広報部
〒161- 0032　新宿区中落合4丁目17番13号　Tel. 03-3951-9941　Fax. 03-3951-9310

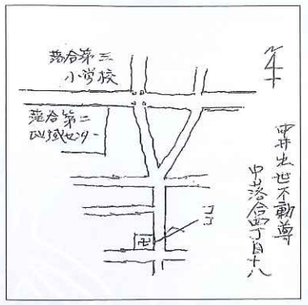
愛染明王（中井出世不動尊）
毎月28日午後1時～3時公開

※関連記事はＰ２～にあります

中井出世不動尊に関する新たな発見

中井出世不動尊（中落合四－十八－十六）に関する新たな発見がありました。その契機になったのは令和八年二月に行われた不動尊建屋の耐震化工事である。不動堂の耐震化工事にあたり、祀られていた仏像、不動明王、矜羯羅童子、制吒迦童子、他の仏像を広間に仮避難させました。他の仏像達が由緒あるものと分かるのは、少し時間が経ってからです。

安置する奥の部屋から広間へ仮避難



再び設置

移動は数人がかり

他の仏像とは、極彩色で新しい仏像としか考えられない物と地蔵菩薩、如来、いずれも厨子に入っており、過去に大切にされてきたことが窺える仏像です。しかし、中井出世不動尊の案内パンフレットには「昭和のお堂が建立されてから持ち込まれたものと考えられる」と記載されており、「いずれ片付けの必要がある」と講の皆さんも考えていました。片付けるというのは、ゴミには出せないので、焚き上げて燃やすことを考えていました。

何故かと言えば、参拝者の中に自分で円空仏を模して仏像を作り、捨てるに捨てられず本物の円空仏の隣に置かせてほしいとお願いされたり、講の了解も得ずに黙って置いて行かれる方もあり、最盛期には、十体近くの参拝者の作った円空仏（円空仏に似せた自作の仏像）がありました。前講元は「偽円空仏を持ってこられても困るな。時間が経つとどれが本物か区別がつかなくなる。自分で整理して欲しい」と独り言を云っていました。

七月イベント七タコンサート

七月四日（土）、午前十一時から、落合第二中学校吹奏楽部による『♪響け！落二中のハーモニー♪』が開催されました。事前申込制で満席の中、Make Her Mine、A Whole New World などの演奏を楽しみました。

地域センターからのお知らせ

落合第二地域センター管理運営委員会
令和八年度 広報部新ＰＴＡ委員
（一年任期）

落三小　佐藤　悦子　　山林　加奈
落五小　東　真実　　澤邉　陽子
落六小　宇野　美沙紀　　寺田　綾
落二中　宇都宮　陽子　　野澤　陽
（順不同　敬称略）

地域センター　令和八年度行事予定

八年　体験教室①　八月十二日（水）
　　体験教室②　十月十一日（日）
　　健康講座①　十月二十五日（日）
　　センターまつり　十一月一日（日）
九年　新春日本の遊び　一月九日（土）
　　健康講座②　二月十四日（日）
　　文化講演会　三月六日（土）

※変更になることがあります。
日程については決定次第お知らせします。

講の皆さんは偽円空仏と同様な経緯で「極彩色の新しい仏像、地蔵菩薩、如来が不動堂に祀られたのではないか?」と考えていました。

令和八年三月一日に中井御霊神社で月初めの神事があり、終わった後に宮司に「中井出世不動尊の調査報告が記載されている新宿区の文化財総合調査報告書昭和五十三年度版があれば貸して欲しい」と頼みました。すると調査報告書とは別に、故・磯部芳直前宮司が残した不動尊に関するファイルを借りることができました。ワープロで書かれた文字を読みなれている現代人にとっては、毛筆で書かれた資料で崩し文字、旧漢字などで読みづらいものでした。このファイルは昭和四十四年に新しい不動堂を建立するにあたり、多くの人々にこれまでの御霊神社と不動尊（不動明王）の関係を知っていただき、気持ちよく新しい不動堂の建立に多くの人々の協力を得るための説明資料でした。その際、重要なことなので説明内容を一字一句、文書化したものを社務所で読み上げました。それは、昭和四十三年八月四日の事でした。これは、説明内容の根拠資料が添付された事実を証明しうる証拠付きの資料です。

一つ目の発見、明治のお堂

資料から新たな発見がありました。明治政府が明治十年に神仏分離政策を打ち出し、神様と仏像を分けなさいと指示があり、信心の篤い小野田長五郎氏は、村人と謹んで協議し、不動明王と神社の本地仏の愛染明王を村の総意として預かることにしました。（本地仏とは、仏教が隆興した時代に発生した神仏習合思想の一つで、神道の八百万の神々は、実は様々な仏が化身して日本の各地に現れた権現であるとする考え方です。この考え方を本地垂迹と云う）そして明治十三年に小野田長五郎氏の宅地の一部に御堂を建てました。借地契約は、村人四十名の連署で期限三十年としました。この発見により、大正三年に初めて御堂が建てられたことは覆りました。

二つ目の発見、愛染明王

次の新しい発見は、新しい仏像と考えられていた愛染明王は、実は不動明王より古くから御霊神社に祀られていた仏像であったこと。故・磯部芳直前宮司の書付によれば、明治十年までは、御霊大明神の神様、仲哀天皇、神功皇后、應神天皇、仁徳天皇、鹿島大明神と共に不動明王、神社の本地仏の愛染明王は、本殿に祀られていたとあります。

改めて愛染明王を観察すると怖い顔をしており、身体は紅色で腕が三対あり、手には弓矢、鈴、金剛祥などの仏具を携えており、初めてまじまじと観察させていただきました。彩色も色褪せず新しい仏像に見えるには訳がありました。一つは昭和五年に再々修理としてつは、ガラスの厨子に入っており、毎年の「お焚き上げ」でも燻されることなく良い状態を保っていたためと考えられます。当時の修理費百十円は、大学出の初任給が四十～五十円ですからそれなりの金額です。しかし、愛染明王の何処を修理したかは分かりませんでした。再々修理とあることから、昭和五年の少し前にも修理されたものと思われます。

本地仏とか、本地垂迹という言葉は、私も初めて聞く言葉で、今回、探究しなければ分からなかった事で大変勉強になりました。

愛知県の豊川稲荷には鳥居の奥に円福山妙厳寺があり、四国の金毘羅宮（神社）も隣に真言宗象頭山松尾寺があり、昔は神仏混合で良しとしていましたが、明治政府が天皇制（神道）を敷いたことにより、神仏が一緒では都合が悪かったのでしょう。神社での参拝の作法の二礼二拍手一礼も明治政府が決めたことです。出雲大社などの伝統と格式がある神社は、政府の決めた作法に従いませんでした。

ガラス厨子に入った愛染明王

愛染明王は、一面六臂（顔が一つで腕が六本）で他の明王と同じような怖い顔であり、頭には獅子の冠をかぶり、宝瓶（取手の無い急須の形）の上に咲いた蓮の華の上に結跏趺坐（仏教やヨガでもちいられる瞑想、座禅の基本的座法で両足を交差させ太ももの上に乗せる姿勢）で座るという、大変特徴ある姿をしています。その身体は紅色であり、後背に日輪を

背負っています。
以上が外見的な特徴で、特に腕が六本と身体の紅色は、愛染明王の最大の売りです。これには大きな意味があり功徳に繋がります。
釈迦は悟りを得るために煩悩を捨てることを説きましたが、俗世間で暮らす凡人にとって煩悩は捨て難いものであり、特に愛欲に関しては人間の根本的な本能としても捨てがたい欲望なのです。
愛染明王は愛を全身で表現した仏として、肌の紅色は燃え盛る情熱を表し、愛欲から離れることのできない衆生に対して、その本能を否定することなく悟りに向かうエネルギーに振り向けるのが愛染明王の役割です。

さて、愛染明王の御利益とは、
・愛染明王は、恋を射止める弓矢を持っていることから、恋愛成就・縁結び・家庭円満の仏として慕われています。
・愛欲を否定しないことから、古くは遊女、現在では水商売の女性の信仰対象にもなっています。
・女性の出産の苦しみを和らげ、その子のために信心すれば、子どもには福徳と愛嬌を授けます。

不動明王は、立ち塞がる災難や不安を断ち切り、困難に立ち向かう仏様です。右手の剣は煩悩を力ずくで断ち切る強さの象徴です。
愛染明王は、人間の「愛欲」や「煩悩」を否定せず、受け入れ乗り越えることをさとし、恋愛成就や縁結び、家庭円満、人間関係の調和にご利益あり。
二つの仏像、一つは煩悩を断つ強い仏様、一つは煩悩を容認する仏様で、きわめて相反する思想を持つ仏様が、一つの御堂に祀られていたことになります。
（中井出世不動尊講　小野田　利春）

右奥に愛染明王の入ったガラス厨子
左から、制吒迦童子、不動明王、矜羯羅童子

わくわく落合

親子三代「おちあい」で能楽師
中井在住　関根祥丸さん

色鮮やかな絵柄にきらびやかな刺繍の施された美しい装束。静かに訴えかける能面。不思議な魅力にあふれる「能」だが、動きが少なくとっつきにくい、決まりごとが多く、わからないと敬遠する人も多いのではないだろうか。
実は落合第二地域にも長年、能楽の道を歩んでこられた家がある。

おちあい六七号に掲載された能楽師の関根祥六（祥雪）氏（故人）は能楽師の六男として埼玉県越谷市に生まれ、昭和三十五年に中井の地に転居されてきたそうだ。町会の夜回りをご一緒したことがあるという中井に住むKさんは、『火のよ～うじん！』という祥六氏の朗々とした声が忘れられないという。
祥六氏の息子の祥人氏、そして祥人氏の息子の祥丸氏と三代にわたり能楽の道を歩んでいる関根家は「シテ方『観世流シテ方』」の能楽師である。＊1
十六年前、祥丸氏が十六歳の高校生の時に五十歳の若さで急逝された祥人氏の十七回忌追善の舞台「第五十三回桃々会」が銀座の観世能楽堂で開催され、舞台を拝見することができた。
観世能楽堂は銀座シックスの地下三階にある。銀座の喧騒を離れ、静かに地下に降りていくと、そこには広々としたロビーと客席に囲まれた能舞台が現れる。現実の世界から能の幽玄の世界へと自然と誘われる空間である。
当日ロビーには祥人氏祥丸氏のお写真の他、祥人氏が作られた舞台の小道具も展示され、（写真下）その緻密さ美しさに心を奪われた。

稽古風景　幼少の関根祥丸氏と父祥人氏

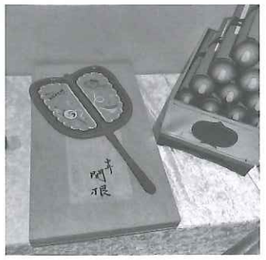
宗家の観世清和氏による舞囃子「姥捨」の他、連吟、狂言、仕舞が披露され、祥丸氏が能の「熊野」を演じた。
「熊野」は、平宗盛に仕える遊女「熊野」が、老母が危篤の知らせを受け帰郷を願うが叶わず、牛車に乗り花見に向かう。道行、花見の酒宴の席を務めながら心晴れずに舞を舞う。にわか雨に桜の花が散る様子に母の姿を重ね「いかにせん都の春も惜しけれど馴れし東の花や散るらん」という歌をしたため、帰郷をゆるされるという最後は心安らぐ作品である。
能舞台の上は極限までに簡略化されているので牛車も布がまかれた細い竹の木枠で組まれただけのもの。（左下の写真参照）
能には、演目の主に主役を演ずる「ワキ方」と、舞台で演技（舞）を行う他、座って謡を謡う役割もする。大鼓を演奏する「囃子方」がある。「シテ方」は舞台の主役（「シテ」）を演じるだけでなく、演出家や座長の役割も務めるため、その修業はとても厳格であるそうだ。
「囃子方」のイヤー、ハーッという掛け声と鼓の響き、ときに足を鳴らし、ときに静かに舞う「シテ方」の舞と演奏の響きあいは調和のとれた『共演』でもあり、競い合う『競演』でもあると感じた。
熊野の大役を務められた祥丸氏。演じるだけでなく、東京、埼玉、長野、静岡、愛知など各地のおけいこ場で舞や謡のお稽古を行う他、東京大学観世会のサークル指導を行い、能の魅力を伝えている。
年末には、新しい演能の会を催す予定で、平日夜に初心者にも楽しめる時間の短い公演を企画しているそうだ。インスタグラム、HPでご確認ください。
（藤川　裕子）

＊1「シテ方」には、観世流、金春流、金剛流、喜多流、宝生流の五つの流派がある。

関根祥丸氏

第53回　桃々会　熊野　シテ　関根祥丸

公演日程はインスタグラム、
HPに掲載。
http://sekineyoshimaru.jp/
@SEKINE_YOSHIMARU



関根祥人作　能楽小物

落合第五小

副校長着任のごあいさつ

落合第五小学校副校長に着任しました唐澤伸郎です。昨年度１年間の伊豆七島・御蔵島の勤務を経て、廻り回って13年ぶりに地元新宿の小学校に戻りました。お陰さまで４月から毎日楽しく勤務させていただいています。地域の皆様にはいつも子どもたちのために惜しみないお力添えをいただき大変感謝しております。令和８年度、まだ始まったばかりです。世の中、年中、色々なことがあり、毎年異常気象や災害などに悩まされますが、１年間、平和に安全に落五小の子どもたちが健全に成長していくことを願い、教職員ともに一致団結して尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

副校長　唐澤 伸郎

令和8年度　落五小運動会

５月30日(土)に令和８年度の運動会を開催しました。今年度は「心を燃やして　みんな笑顔でがんばろう」のスローガンのもと、１年生から６年生まで全児童が徒競走、団体競技、表現運動の３種目に全力で取り組み、頑張る姿が見られました。

朝から天候も良く沢山の方々にご観覧いただき、プログラムの最後には児童、保護者、地域の皆さん、教職員が一緒に落合音頭を踊って締めくくりました。

皆様ありがとうございました。

1・2年表現　Sparkling フープ jubilee

3・4年表現　落五ソーラン2026

5・6年団体競技　騎馬戦2026

落合第三小

校長着任のごあいさつ

“みんな”が笑顔でなかよくできますように!

開校97年目を迎える歴史と伝統ある落合第三小学校に４月から着任することが決まった時、心に決めたことは、『落三小で出会った“みんな”を幸せにするぞ！』でした。

“みんな”とは、落三小の素晴らしい子どもたち、教職員、保護者、地域、教育委員会等、全ての人たちということです。

人と人との出会いは、奇跡でもあり、必然でもあります。「笑顔」と「感動の涙」がこだまするような最高の学校を創っていきます！

私たちは子どもたちを褒めて伸ばして、面白い学びに出会わせて、「笑顔」を存分に引き出していきます！そして、「涙」は…。落三小に来て、透き通った歌声を聴いて、一心に話を聴く姿勢を見て、褒め上手で諦めないで子どもと向き合っている教職員や温かい家庭や地域環境を創っている保護者・地域の方々と出会って、感動の涙を流し続けている泣き虫校長です。これからの落三小をよろしくお願いします！

校長　宇山 幸宏

一年生を迎える会

４月27日(月)朝、全校児童が体育館に集まり、代表児童の司会進行のもと新一年生を迎える会が催されました。ピアノの演奏に合わせて入場した一年生は舞台の前で一列に並び、校長先生と代表児童の歓迎の言葉と、上級生からの合唱「ジャンプ」のプレゼントを受け取りました。一年生は上級生の美しい歌声に驚き、尊敬の眼差しで見つめていました。一年生から上級生には、合唱「ドキドキドン！一年生」のプレゼントがありました。緊張しながらも元気いっぱい一生懸命歌う姿に、上級生たちもにっこり笑顔になりました。最後に一年生も朝会の列に加わり、校歌を斉唱しました。令和８年度の落三小の全校児童の歌声が一つになり、温かい新学期のスタートとなりました。

１年担任　柿沼 杏奈
浅野 真紀子

１年生入場

１年生あいさつ

落合第二中

副校長着任のご挨拶

今年度より落合第二中学校の副校長に着任いたしました武田恵美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、４クラス計109名の新入生を迎え、全校生徒293名のスタートとなりました。

毎日、廊下ですれ違う子どもたちの多くは「おはようございます！」や「こんにちは！」など、大きな声で、にこやかにあいさつをしてくれているおかげで、私も思わずにっこり笑顔になり、さわやかな気持ちになっています。『あいさつは、心と心の架け橋』という言葉を実感できる学校、地域に御縁があったことにとても感謝しております。

地域の皆さま、保護者の皆さまには、これから様々な行事をとおしてご支援・ご協力いただくことになるかと思います。今後とも、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、子どもたちの成長を一緒に支えていければいいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

副校長　武田 恵美

一年生女神湖移動教室

令和８年５月17日(日)から19日(火)まで、長野県の女神湖高原学園で移動教室を実施しました。二泊三日の活動を通じて、学年・学級の親睦を深めるとともに、雄大な自然の中で体験学習を行い、日本の文化や伝統を学びました。初日は役割を分担しながらの飯ごう炊さんで、カレー作りに挑戦しました。田植え体験では、泥に足を取られながら、農家の大変さに触れ、夜のキャンプファイヤーでは、ゲームで盛り上がりながら学年の思い出をつくりました。二日目は鷹山ファミリー牧場で搾乳やバター作りを体験し、霧ヶ峰ハイキングでは自然の美しさや厳しさに触れました。最終日は、お世話になった学園の皆さんに別れを告げ、うちわ作り、釜めしとおみやげ購入で締めくくり、無事に全員帰宅しました。三日間を通して、集団生活の中で自主性・責任感・協力の大切さを体感し、仲間との絆を深めることができました。今回の経験を今後の学校生活に生かし、安全で充実した活動を続けていきます。今回の三日間で得た、小さな『成功体験』をこれからの成長につながる大きな一歩に変えられるよう、みんなで協力して、学び合い、楽しみ合いながら、これからも元気に学校生活を送ってほしいと思います。

１学年主任　光家 将大

ハイキング

田植え体験

キャンプファイヤー

落合第六小

校長着任のごあいさつ

本年度より落合第六小学校校園長を拝命しました原島謙一です。どうぞよろしくお願いいたします。昨年度は、副校長として１年間、素晴らしい地域、学校に関わることができたことを嬉しく思います。今年度からは、校長として子どもたちが主役となって輝けるような、子どもたちが通いたくなる学校をつくっていこうと考えております。保護者の皆さま、地域の皆さまのお力を借りながら、教職員が一丸となって「誰もが通いたくなる学校」をつくっていきたいと思います。

校長　原島 謙一

副校長着任のごあいさつ

区内の牛込仲之小学校から、転任してまいりました。落六小の周りはとても落ち着いた雰囲気で、子どもたちは子どもらしく元気いっぱいです。私も毎日楽しく過ごしています。最近、矢部太郎さんの『大家さんと僕』という本を読みました。矢部さんが住んでいらしたのが、落合地区で、この『おちあい』にも特集が組まれているのを知りました。同じ号に「落合の由来」の記事がありました。地図好きな私は、興味深く読ませていただきました。地域の皆さまと共に、落六小をより楽しく元気な学校にしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

副校長　小関 俊介

体育学習発表会（5月30日）

１・２年生　おちろく★コドモヒーロー

３・４年生　お助け綱人（つなんちゅ）

５・６年生　おちろくソーラン2026

「ようこそ落六小へ！」

入学式の準備をする6年生

対面式

1年生初めての給食「カレー」

目白大学・目白大学短期大学部　地域連携事業のお知らせ

目白大学・目白大学短期大学部では、地域の皆様に無料でご参加いただける「地域連携事業」を行っています。

【ホッとヨガ】
みんなとヨガ　8月１日(土)
対象：どなたでも(５歳未満のお子様も同伴可)

【目白大学の大きな体育館でいっしょにあそぼう！】
７月25日(土)13：30～14：30　とびばこであそぼう！
８月29日(土)13：30～14：30　鉄棒であそぼう！
対象：年少～年長　　※内容は変更になる場合があります。
お問い合わせは目白大学ホームページをご覧ください。

目白大学　地域連携事業

春のごみゼロ運動

５～６月に春のごみゼロ運動を実施し、多数の方にご参加いただきました。
ありがとうございます。

秋のごみゼロ運動は10月頃を予定していますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

今年もみんなでコミスポ！～コミュニティスポーツ地区大会～

申込書は落二特別出張所で９月から配布予定

老若男女問わず、子どもから高齢の方まで楽しめる種目で競うスポーツ大会です。

日程：10月18日(日)
会場：落合第六小学校
種目：ボッチャ、輪投げ、ユニカール等を予定
　　※種目が変更となる可能性があります。
申込：９月上旬から落合第二特別出張所で申込書を配布する予定です。ふるってご参加ください。

昨年の地区大会の様子（令和7年度）
大人と子どもが、一緒にボッチャ！

新所長ごあいさつ

落合第二特別出張所　山本　秀樹

４月１日から落合第二特別出張所長になりました山本秀樹です。
落合第二地域の歴史や文化を大切にしながら、地域の交流を深めていくことで、いきいきと暮らせる安全・安心なまちにしたいと考えています。そのために、地域の皆様にとって最も身近な新宿区の特別出張所となるように取り組んでまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

＊ご入学・ご入園おめでとう＊

令和8年5月1日現在

中学校	落合中	86人
	落合第二中	108人
小学校	落合第一小	78人
	落合第二小	41人
	落合第三小	43人
	落合第四小	67人
	落合第五小	26人
	落合第六小	38人

このページに関するお問い合わせは… 落合第二特別出張所　電話：03-3951-9177　ファックス：03-3952-3183